

# 令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

石川県

学校名

中能登町立中能登中学校

人権課題

子供について（いじめ）

対象学年・  
取り扱った教科等

中学1～3年生・特別活動

目標・人権教育のねらい

- ・良好な人間関係の構築。
- ・自尊感情の向上。
- ・ソーシャルスキルの向上。
- ・互いの相違を認め、受け入れる力の育成。

実施した内容

- ・4人程度のグループごとに約10分間、予め決められたテーマに沿って話し合う活動である、短時間グループアプローチ「ナカノトーク」を週に1回実施。

工夫した点

- ・毎回、生徒の活動の様子を見取り、教師が必ず価値付けを行う。
- ・学期ごとに短時間グループアプローチ「ナカノトーク」の意義と価値について、生徒と教師が共通理解を図り、意欲の向上につなげた。
- ・活動に関する生徒対象のアンケートを定期的実施し、その結果を教師の指導に生かした。

他教科との  
関連

- ・全教科の授業における学び合いの場面において、短時間グループアプローチ「ナカノトーク」で身に付けたかかわりの力が生きるよう指導した。

事業成果

- ・知識的側面：一人一人が互いに尊重されるべき存在であることへの理解が深まった。
- ・価値的・態度的側面：他者を認め、協力し合う人間関係の構築ができる生徒が増加した。
- ・技能的側面：互いの相違を認め、受け入れる力が向上した。
- ・いじめの認知件数：昨年度よりも減少した。

# 令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

石川県

学校名

中能登町立中能登中学校

人権課題

女性

対象学年・  
取り扱った教科等

中学3年生・学級活動

目標・人権教育のねらい

- ・身近にある人権課題への気づきを深める。
- ・男女共同参画に対する理解。
- ・男女共同参画への意識向上。
- ・男女共同参画について考える。

実施した内容

- ・道徳科の授業で触れた男女共同参画についての理解を踏まえて、男女共同参画をテーマにした川柳をつくる。

工夫した点

- ・つくった川柳は、生徒同士で交流し、多様な考えに触れられるようにした。
- ・男女共同参画について触れた道徳科の授業を想起したり、生徒が普段体験している例などを挙げることで、男女共同参画についてより深く考えられるようにした。

他教科との  
関連

- ・男女共同参画に触れた道徳科の授業を想起することで、川柳をつくる助けとした。

事業成果

- ・知識的側面：男女共同参画についての理解が深まった。
- ・価値的・態度的側面：男女それぞれの個性と能力を尊重しようとする態度が育まれた。
- ・技能的側面：従来の固定的な性別役割分担意識に気づく力が高まった。

# 令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

石川県

学校名

中能登町立中能登中学校

人権課題

高齢者

対象学年・  
取り扱った教科等

中学3年生・特別活動

目標・人権教育のねらい

- ・高齢者の人権問題についての興味、関心を高める。
- ・高齢者の人権問題についての理解を深める。

実施した内容

- ・高齢者の人権問題について知っていることを話し合う。
- ・書籍やインターネットなどで情報収集し、高齢者の人権問題についての理解を深める。
- ・学校祭で制作する学級新聞の記事の一部に指定テーマ「高齢者の人権問題」を設け、そのテーマについて記事を作成する。

工夫した点

- ・完成した新聞は、来校者や全校生徒に向け、生徒玄関に掲示し、興味、関心を喚起すると同時に、理解を深められるようにした。
- ・幅広く情報を収集できるよう、図書館司書と協力し、本校図書館のみならず他の図書館からも広く書籍を集めた。また、関連するインターネットサイトの情報についても提供した。
- ・単に、収集した情報を記事にするという作業に終始しないよう、自分の経験や、記事作成を通じて感じたこと、考えたことも記事に盛り込むよう指導した。

他教科との  
関連

- ・家庭科の授業において、高齢者について学ぶ際に、制作された新聞記事にも触れながら指導した。

事業成果

- ・知識的側面 : 高齢者の人権問題についての理解が深まった。
- ・価値的・態度的側面 : 高齢者の人権問題について、制作した新聞を通じて発信することにより、高齢者の人権を尊重し、誰もが暮らしやすい社会の実現を呼びかけていこうとする態度が育まれた。
- ・技能的側面 : 高齢者の人権問題の背景や現状について情報を集め、分析することを通して、公平な立場で問題を捉える力が向上した。

# 令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

石川県

学校名

中能登町立中能登中学校

人権課題

障害者

対象学年・  
取り扱った教科等

中学1年生・特別活動

目標・人権教育のねらい

- ・ 障害者の人権問題についての興味、関心を高める。
- ・ 障害者の人権問題についての理解を深める。

実施した内容

- ・ 障害者の人権問題について知っていることを話し合う。
- ・ 書籍やインターネットなどで情報収集し、障害者の人権問題についての理解を深める。
- ・ 学校祭で制作する学級新聞の記事の一部に指定テーマ「障害者の人権問題」を設け、そのテーマについて記事を作成する。

工夫した点

- ・ 完成した新聞は、来校者や全校生徒に向け、生徒玄関に掲示し、興味、関心を喚起すると同時に、理解を深められるようにした。
- ・ 幅広く情報を収集できるよう、図書館司書と協力し、本校図書館のみならず他の図書館からも広く書籍を集めた。また、関連するインターネットサイトの情報についても提供した。
- ・ 単に、収集した情報を記事にするという作業に終始しないよう、自分の経験や、記事作成を通じて感じたこと、考えたことも記事に盛り込むよう指導した。

他教科との  
関連

- ・ 道徳科の授業において、障害者の人権問題について学習する際に、制作された新聞記事についても触れながら指導を行った。

事業成果

- ・ 知識的側面 : 障害者の人権問題についての理解が深まった。
- ・ 価値的・態度的側面 : 障害者の人権問題について、制作した新聞を通じて発信することにより、障害者の人権を尊重し、誰もが暮らしやすい社会の実現を呼びかけていこうとする態度が育まれた。
- ・ 技能的側面 : 障害者の人権問題の背景や現状について情報を集め、分析することを通して、公平な立場で問題を捉える力が向上した。

# 令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

石川県

学校名

中能登町立中能登中学校

人権課題

同和問題

対象学年・  
取り扱った教科等

中学2年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・同和問題についての興味、関心を高める。
- ・同和問題についての理解を深める。

実施した内容

- ・同和問題について知っていることを話し合う。
- ・書籍やインターネットなどで情報収集し、同和問題についての理解を深める。
- ・同和問題に関して考えたことをグループ内で交流する。

工夫した点

- ・多様な考えに触れられるよう、グループで学習した。
- ・昨年度作成した壁新聞の同和問題の記事も活用した。

他教科との  
関連

- ・社会科の授業における同和問題についての学習にも触れて、指導を行った。

事業成果

- ・知識的側面 : 同和問題についての理解が深まった。
- ・価値的・態度的側面 : 同和問題について正しく理解し、人間の尊厳が守られる社会の実現を目指そうとする態度が育まれた。
- ・技能的側面 : 同和問題の背景や現状について情報を集め、分析することを通して、公平な立場で問題を捉える力を育むことができた。

# 令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

石川県

学校名

中能登町立中能登中学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・  
取り扱った教科等

中学2年生・特別活動

目標・人権教育のねらい

- ・インターネットによる人権侵害についての興味、関心を高める。
- ・インターネットによる人権侵害についての理解を深める。

実施した内容

- ・インターネットによる人権侵害について知っていることを話し合う。
- ・書籍やインターネットなどで情報収集し、インターネットによる人権侵害についての理解を深める。
- ・学校祭で制作する学級新聞の記事の一部に指定テーマ「インターネットによる人権侵害」を設け、そのテーマについて記事を作成する。

工夫した点

- ・完成した新聞は、来校者や全校生徒に向け、生徒玄関に掲示し、興味、関心を喚起すると同時に、理解を深められるようにした。
- ・幅広く情報を収集できるよう、図書館司書と協力し、本校図書館のみならず他の図書館からも広く書籍を集めた。また、関連するインターネットサイトの情報についても提供した。
- ・単に、収集した情報を記事にするという作業に終始しないよう、自分自身の経験や、記事作成を通じて感じたこと、考えたことも記事に盛り込むよう指導した。

他教科との  
関連

- ・技術科の授業において、インターネットを安全に利用するための情報モラルを学習する際に、制作された新聞記事についても触れながら指導した。

事業成果

- ・知識的側面 : インターネットによる人権侵害についての理解が深まった。
- ・価値的・態度的側面 : インターネットによる人権侵害について、制作した新聞を通じて発信することにより、互いの人権を尊重し、安心してインターネットを使用できる社会の実現を呼びかけていこうとする態度が育まれた。
- ・技能的側面 : インターネットによる人権侵害の背景や現状について情報を集め、分析することを通して、公平な立場で問題を捉える力が向上した。

# 令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

石川県

学校名

中能登町立中能登中学校

人権課題

性的指向、性自認

対象学年・  
取り扱った教科等

中学2年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・性的指向、性自認についての興味、関心を高める。
- ・性的指向、性自認についての理解を深める。
- ・性的指向、性自認に関する人権問題に対し、自分が行動できることを考える。

実施した内容

- ・性的指向、性自認について知っていることを話し合う。
- ・書籍やインターネットなどで情報収集し、性的指向、性自認に関する人権問題についての理解を深める。
- ・性的指向、性自認に関する人権問題についてのスライドを作成し、プレゼンテーションを行う。
- ・性的指向、性自認に関する人権問題に対して、自分ができることをまとめた「中能登人権宣言」を作成し、発信する。

工夫した点

- ・学校祭の学習発表会で、全校生徒に向けてプレゼンテーションを行った。
- ・多様な考えに触れられるよう、グループで学習し、グループごとにプレゼンテーションを行った。

他教科との  
関連

- ・保健体育科の授業における、欲求と心の健康についての学習にも触れて、指導を行った。

事業成果

- ・知識的側面 : 性的指向、性自認についての理解が深まった。
- ・価値的・態度的側面 : 性的指向、性自認について「中能登人権宣言」を通じて発信することにより、互いの人権を尊重し、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を呼びかけていこうとする態度が育まれた。
- ・技能的側面 : 性的指向、性自認についての背景や現状について情報を集め、分析することを通して、公平な立場で問題を捉える力が向上した。

# 令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
定都市名

石川県

学校名

中能登町立中能登中学校

人権課題

その他（コロナ差別）

対象学年・  
取り扱った教科等

中学2年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・コロナ差別についての興味、関心を高める。
- ・コロナ差別についての理解を深める。
- ・コロナ差別に対し、自分が行動できることを考える。

実施した内容

- ・コロナ差別について知っていることを話し合う。
- ・書籍やインターネットなどで情報収集し、コロナ差別についての理解を深める。
- ・コロナ差別についてのスライドを作成し、プレゼンテーションを行う。
- ・コロナ差別に対して、自分ができるところをまとめた「中能登人権宣」を作成し、発信する。

工夫した点

- ・学校祭の学習発表会で、全校生徒に向けてプレゼンテーションを行った。
- ・多様な考えに触れられるよう、グループで学習し、グループごとにプレゼンテーションを行った。

他教科との  
関連

- ・保健体育科の授業において、感染症の原因とその広がり方について学習する際には、生徒が行ったコロナ差別のプレゼンテーションの内容とも関連させて指導した。

事業成果

- ・知識的側面 : コロナ差別についての理解が深まった。
- ・価値的・態度的側面 : コロナ差別について「中能登人権宣言」を通じて発信することにより、互いの人権を尊重し、誰もが安心して生活できる社会の実現を呼びかけていこうとする態度が育まれた。
- ・技能的側面 : コロナ差別についての背景や現状について情報を集め、分析することを通して、公平な立場で問題を捉える力が向上した。